

第2回新型コロナウイルスによる物産観光事業への影響調査結果

(企業・団体)

一般社団法人埼玉県物産観光協会では、新型コロナウイルスによる物産観光事業への影響を把握するため、協会会員（市町村・観光協会を除く）に事業への影響についてアンケート調査を実施し、以下のとおりの結果となりましたのでお知らせします。

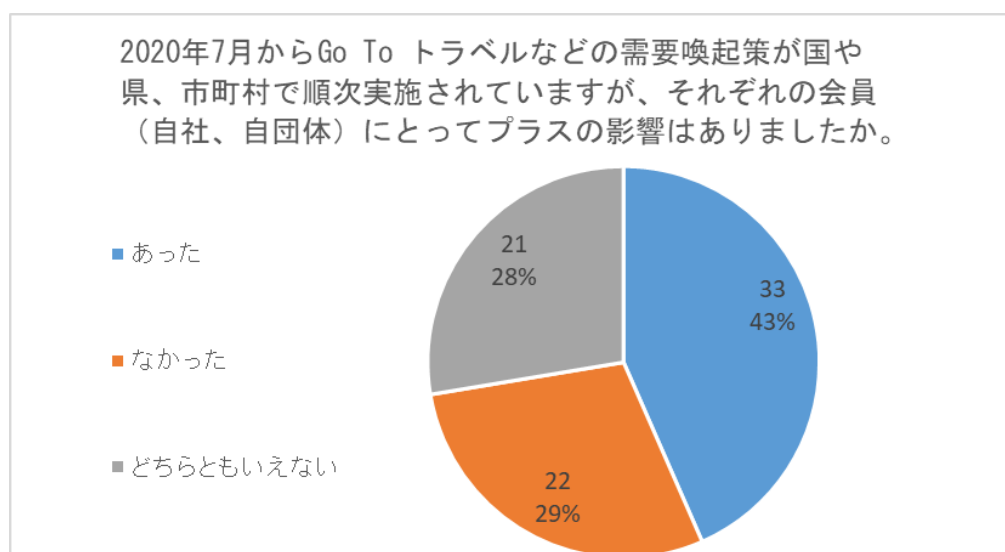
1 調査概要

- ・調査対象：協会会員 561 名中 472 名（市町村・観光協会は別アンケートを実施）
- ・調査期間：令和2年11月6日（金）～11月27日（金）
- ・調査手法：Microsoft Forms によるウェブアンケート
- ・回答数：76（回答率：16.1%）

2 調査結果

(1) 2020年7月からGo To トラベルなどの需要喚起策が国や県、市町村で順次実施されていますが、それぞれの会員（自社、自団体）にとってプラスの影響はありましたか。

あった	33	43%
なかった	22	29%
どちらともいえない	21	28%

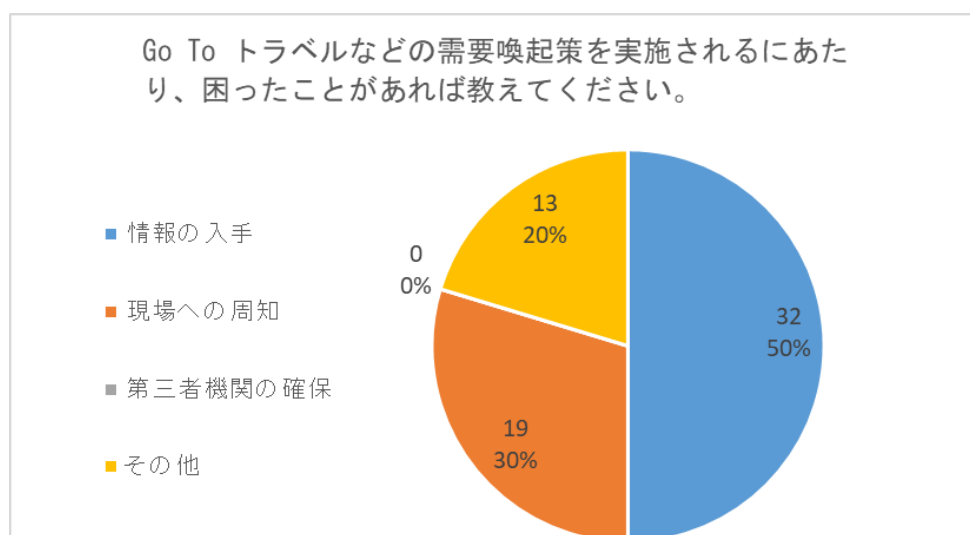


(2) Go To トラベルなどの需要喚起策を実施されるにあたり、困ったことがあれば教えてください。

情報の入手	32	50%
現場への周知	19	30%
第三者機関の確保	0	0%
その他	13	20%

【その他記述】

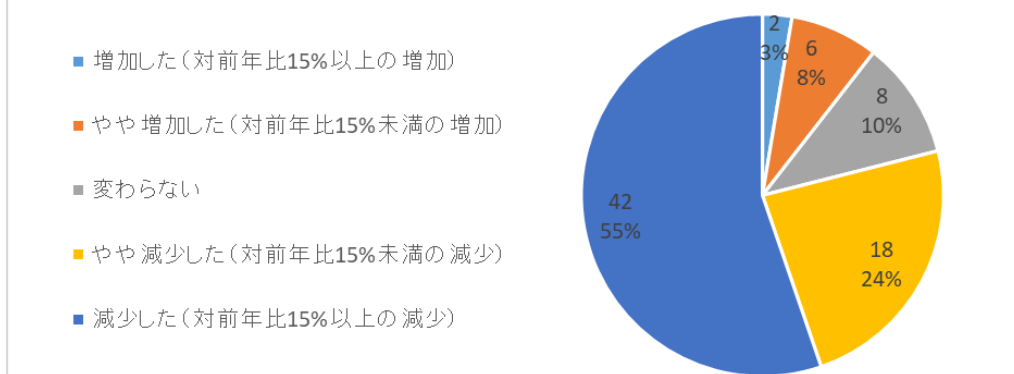
- ・配布までの印鑑押しなど
- ・特になし
- ・内容が複雑で、事業者理解されにくい
- ・GO TO トラベルはあまり関りがありません
- ・不明点問い合わせの不通電話・メール
- ・感染対策の徹底方法



(3) 2020年7月～9月の売上の推移を教えてください。(対前年比)

増加した (対前年比 15%以上の増加)	2	3%
やや増加した (対前年比 15%未満の増加)	6	8%
変わらない	8	10%
やや減少した (対前年比 15%未満の減少)	18	24%
減少した (対前年比 15%以上の減少)	42	55%

2020年7月～9月の売上の推移を教えてください。（対前年比）

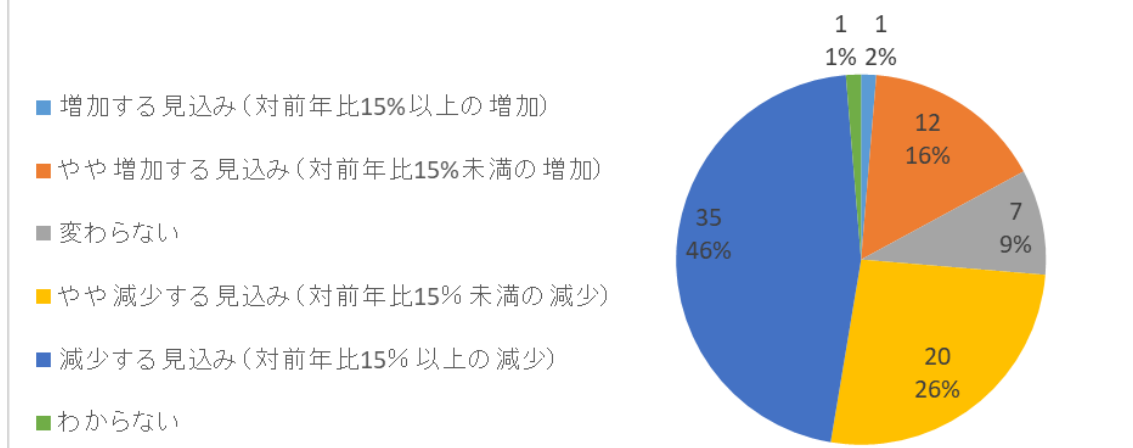


(4) 2020年10月～12月の売上見込みを教えてください。（対前年比）

増加する見込み（対前年比 15%以上の増加）	1	2%	※
やや増加する見込み（対前年比 15%未満の増加）	12	16%	
変わらない	7	9%	
やや減少する見込み（対前年比 15%未満の減少）	20	26%	
減少する見込み（対前年比 15%以上の減少）	35	46%	
わからない	1	1%	

※端数処理のため、「増加する見込み」の少数点を繰り上げ

2020年10月～12月の売上見込みを教えてください。（対前年比）

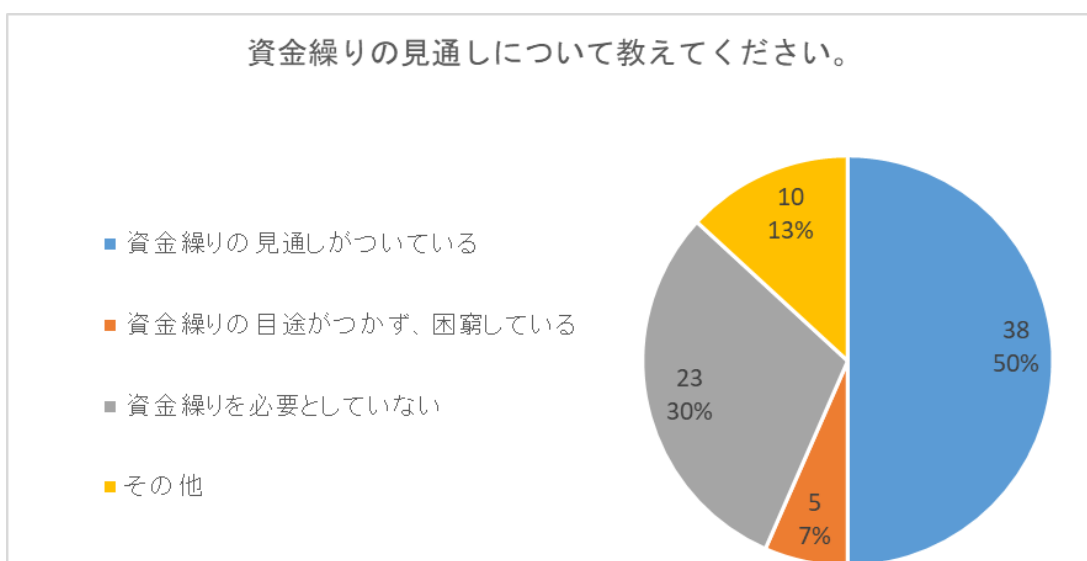


(5) 資金繰りの見通しについて教えてください。

資金繰りの見通しがついている	38	50%
資金繰りの目途がつかず、困窮している	5	7%
資金繰りを必要としていない	23	30%
その他	10	13%

【その他記述】

- ・今のところは大丈夫だが、今後わからない
- ・不明
- ・本社対応
- ・余剰資金も底をつき、コロナ融資に手を付けてしまいました
- ・会員にとっては厳しい環境
- ・このままの状況が続くと不安
- ・グループ 親会社との資金融通
- ・資金繰りの見通しはあるが、現実は大変
- ・会社内でのやりくりで他部署からの補填
- ・綱渡りの状態が続いている。



(9) 協会、県、国に対して要望等がありましたら教えてください。(例：需要喚起策のための予算措置の実施、政策決定の基礎となる統計・市場情報の収集・提供、産業競争力・生産性向上のための情報提供・支援、プロモーションの共通フォームの制作・提供、広域連携の推進など)

【主な記述】

- ・現在が好調に推移しているためGOTO トラベルの終了後が怖い。延長を強く望みます
 - ・商業施設などで安定的に売り上げの見込める常設の売場があればありがたいです
 - ・県内の加工食品業者、酒造会社は需要の落ち込みにより厳しい状況が続いており、日本酒を含めた県内物産のキャンペーン（県内物産を購入すると抽選でお酒等をプレゼントするとか）を実施して欲しい（新潟県は実施しています）
 - ・利用者が分かりやすい施策をお願いしたい。GOTO よりも、生活費における救済が望ましく思えてならない
 - ・農産物などで行われている埼玉農産物エールキャンペーンなどのように日本酒も取り組んでいただくと大変助かります。（<https://nousanbutsu-yell.com/buy>）
- 飲食店の忘年会などでの自粛やキャンセルなどにより清酒の消費も厳しい状況が予想されます。冬季は需要が期待できる季節なのでご支援のご検討を宜しくお願い致します
- ・市町村とのより良い連携を希望します。また、いままでと同じように、より速い情報伝達をお願い致します。
 - ・ガイダンス的なものが欲しい。都会と田舎では、環境が相違するので細かい数種のガイダンスが必要
 - ・景気回復のための事業の制度が複雑で、かつ集中しており、事業者にとって理解しにくい。また、年度末に一斉に景気回復のための事業が終了してしまうと、困窮してしまう事業者が出てくる懸念がある。GOTO キャンペーンも継続を希望する。
 - ・Go To トラベル後の観光地も依然と厳しい経営環境が続くものと思います。状況を見ながら全国一律ではなく、地域に合わせた支援を限られた予算内で最大限生かしていただきたいと思います
 - ・需要喚起策のための予算措置の実施
 - ・感染症対策の呼びかけをさらにお願いいたします。年末年始にかけて、気のゆるみから感染拡大が心配されています。初詣行事など対策を取り信者様をお迎えする所存ですが、3が日に限らず、いつでもお参りは出来ることを広報していただければ、有り難く存じます
 - ・自家用車でなく、公共交通機関を利用したお出かけを呼びかける施策があると大変に助かります
 - ・薬、ワクチンの早期流通
 - ・Go to 関係の予算を増やして適用期間を伸ばして欲しい
 - ・医療機関の方々と人の生命を優先することを考えていただきたいです
 - ・本業の自動車部品製造の需要が上向きつつあるため、直近の要望はありません。
- が、感染者数が増加傾向にあり、収束の為の政策を実施する場合は、経済政策も併行して実施戴きたく

・国宝妻沼聖天山をツアーに組み込んだ、独自ツアーの実施。お休み処としてご利用して頂き、お茶と試食のお菓子のサービス

・イベントが全くなくなってしまう、売上げがたたない。イベントを企画しても場所を借りることが出来ない現状です。飲食のイベントをさせていただきたい

・『広域連携推進』宿泊業からの意見ですが。埼玉県を埼玉県民が旅をするお手伝いをしたいと考えます。例えば来館したお客様に町の観光マップだけではなく、「次はここに行こう！」と考えてもらえるような県内の観光地も合わせて宣伝したい。そのためにも既存のパンフレットではなく、観光地の多様な観光資源を繋ぎ合わせた新たな物語りのルートを作りたい。合わせて「守りたい観光」マップも作りたい。これを繰り返すことで埼玉県民愛を育て、引いては県民が埼玉県の広告塔となると考える。ちなみに「地元愛が強い都道府県ランキング」で埼玉県は2019年、46位

・販路開拓支援

・雇用調整助成金延長、社会保険料停止

・過激な安さでアピールするだけでなく、これかも続けて来訪いただけるお客様を創出できるような対策を期待いたします

・テレワークの推進など WITH コロナ時代の働き方・人事制度についての情報提供

・援助を願いたい！税金が大変だ！

・資金繰りで困窮していますが、昨今の人材不足の影響（本年度は人材確保ができませんが、業務に慣れていないため伝統産業の技術面では皆無）で機械の導入をしたいです。このコロナの時期で予算を取るの難しいと思いますが、中小企業が使用できるものづくり補助金を強化してほしい

・GOTO トラベル・イートにしても、旅館業や飲食業等に特化している施策であって、当店のようない日帰り温泉施設では、飲食・温浴が一緒の形態なので該当するかどうかと質問すると、該当なしとなってしまふ。参加できる形態の店舗でないとの判断となってしまふので、キャンペーン施策に該当しない状況。参加枠を広げてほしい。同じように厳しい状況の業種である

・お客様も店舗スタッフも不安の中営業しています。「感染してしまうかもしれない」という不安の中、自粛営業を続けているよりも、不安のある人が自主的にPCR検査をできるよう保険が使えるなど費用負担を少なくしてほしい。より多くの人が検査をできるよう予算をとってほしい

・物産展の開催、支援。プロモーションの共通フォームの制作・提供です

・給付金の再支給